



デマンド型交通の可能性検討について

平成27年10月26日

湖西市市民協働課

1. デマンド型交通とは

- デマンド型交通は、予約があったときのみ運行する方式
- 運行方式、運行ダイヤ、発着地の自由度の組み合わせにより、多様な運行形態が存在

(運行方式の特徴 自宅  バス停等 )


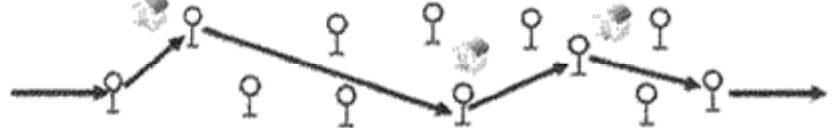


<p>A 定路線型 路線バスやコミュニティバスのように、所定のバス停等で乗降を行うが、予約があった場合のみ運行し、予約がなければ運行しない方式。“空気バス”の解消を図ることができる。</p> 	<p>C 自由経路ミーティングポイント型 運行ルートは定めず、予約に応じ所定のバス停等間を最短経路で結ぶ方式。最短経路の選択により所要時間を短縮するとともに、バス停等を多数設置することにより、バス停等までの歩行距離を短縮することができる。一般タクシーとの差別化を図るため、目的施設または発施設を限定するが多い。</p> 
<p>B 迂回ルート・エリアデマンド型 定路線型をベースに、予約に応じて所定のバス停等まで迂回させる運行方式。バス停等まで遠い地域に迂回ルートを設定することにより、交通空白地域の解消を図ることができる。</p> 	<p>D 自由経路ドアツードア型 運行ルートやバス停等は設けず、指定エリア内で予約のあったところを巡回するドアツードアのサービスを提供する運行方式。一般タクシーとの差別化を図るため、目的施設または発施設を限定する場合もみられる。</p> 

図 運行方式から見たデマンド型交通の分類パターン

出典:国土交通省中部運輸局(2014.3)、「続・デマンド型交通の手引き」

2. 本市でのデマンド型交通の位置づけ

(1) H26評価改善委員会報告書における位置づけ

コーちゃんバスの需要が少ない地域における移動手段

- 現在、コーちゃんバスが通っているものの、利用がほとんどない地域の移動手段
- 「市街地が広く広がっている地域」などでは、ルートを固定して運行するコーちゃんバスの形態は、利用者から見て使い勝手が悪い。
- 岡崎循環線沿線地域

コーちゃんバスが通っていない地域における移動手段

- 幹線道路から離れており人口の多くないため、現在コーちゃんバスが通っていない地域の移動手段
- 中尾平地域（知波田）、内山地域・新切地域・松山地域（新居）など

(2) 今後検討が必要な位置づけ

身体的にバス停まで行くことが困難な市民への移動手段

- 地域公共交通を利用することは可能であるが、バス停まで行くことが体力的に難しい市民の移動手段
- 本市では、タクシーがその役割を担うことを想定するが、経済的問題などでタクシーを利用できない場合の対応について今後検討が必要

3. デマンド型交通の可能性検討

(1) コーちゃんバスの需要が少ない地域

○岡崎循環線の利用者は、年々減少傾向にあり、3年目は1日20人に満たない。

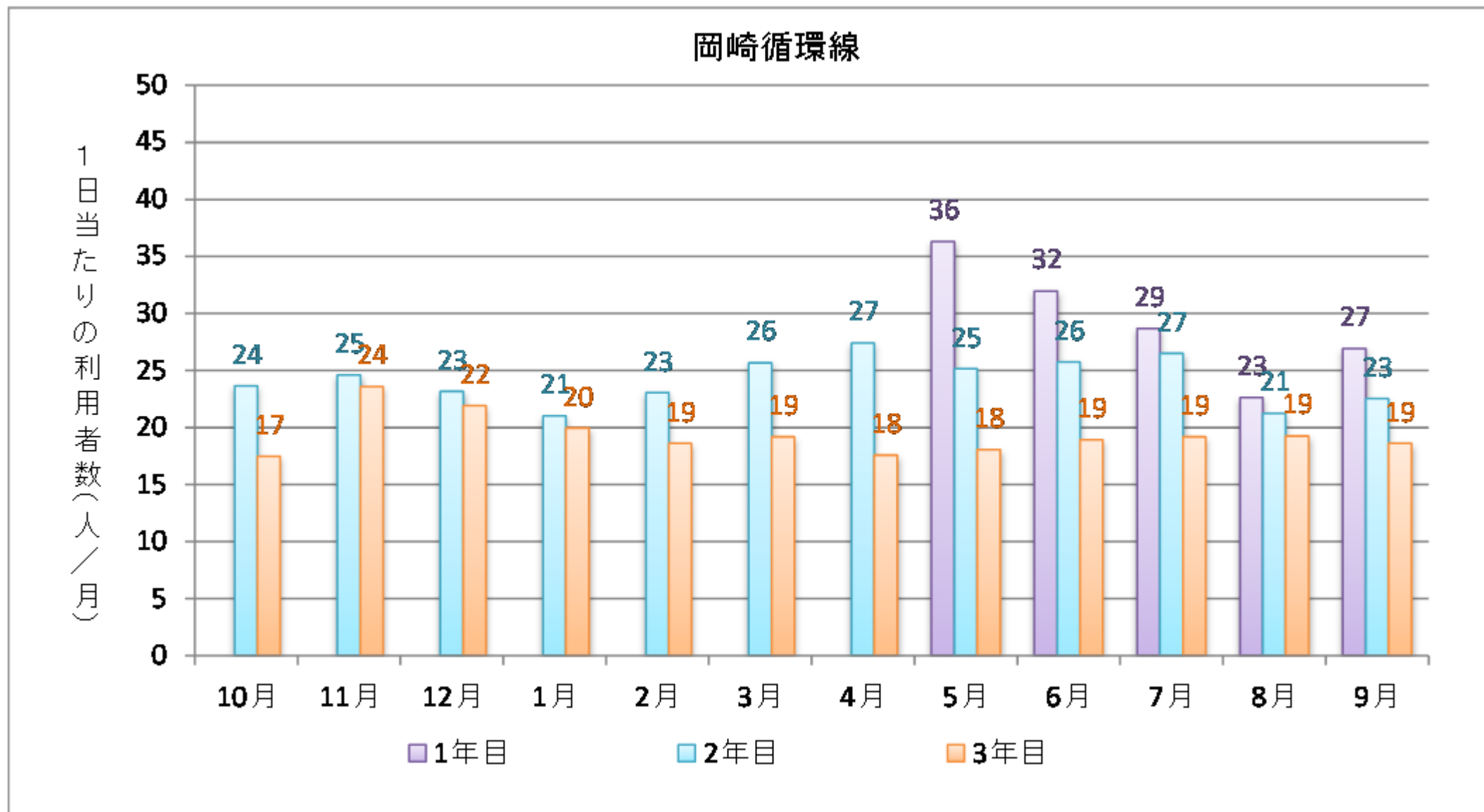


図 乗降状況(各バス停の「乗車」-「降車」の累計値 ≡ 車内の人数)

3. デマンド型交通の可能性検討

(1) コーちゃんバスの需要が少ない地域

① コーちゃんバスの利用状況

- 岡崎循環線は、概ね知波田鷲津線からの乗り継ぎ利用となっており、岡崎地区内の利用は少ない。
- 車内人数が5人以上となる便はなく、午後は利用がほとんどない。

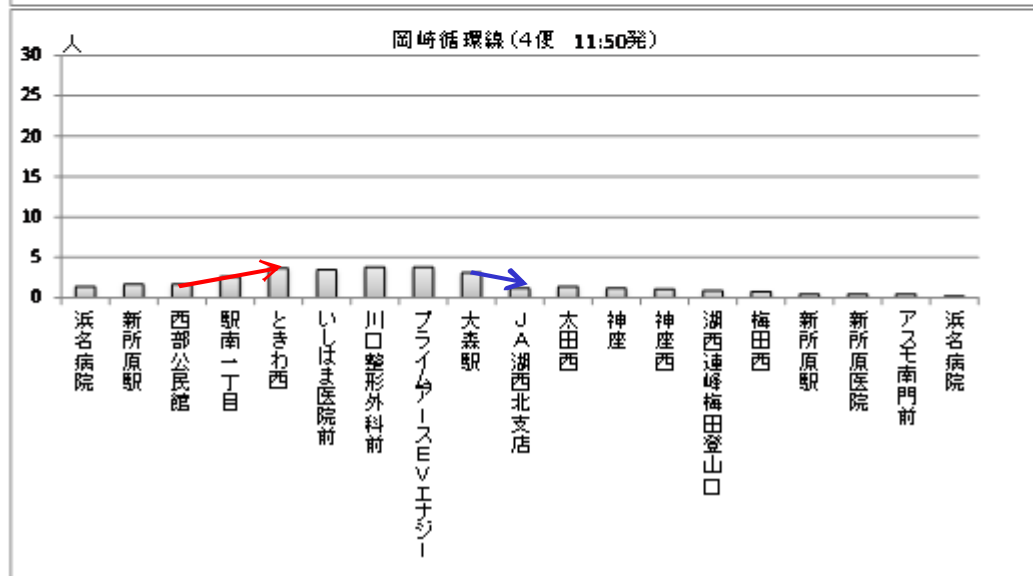
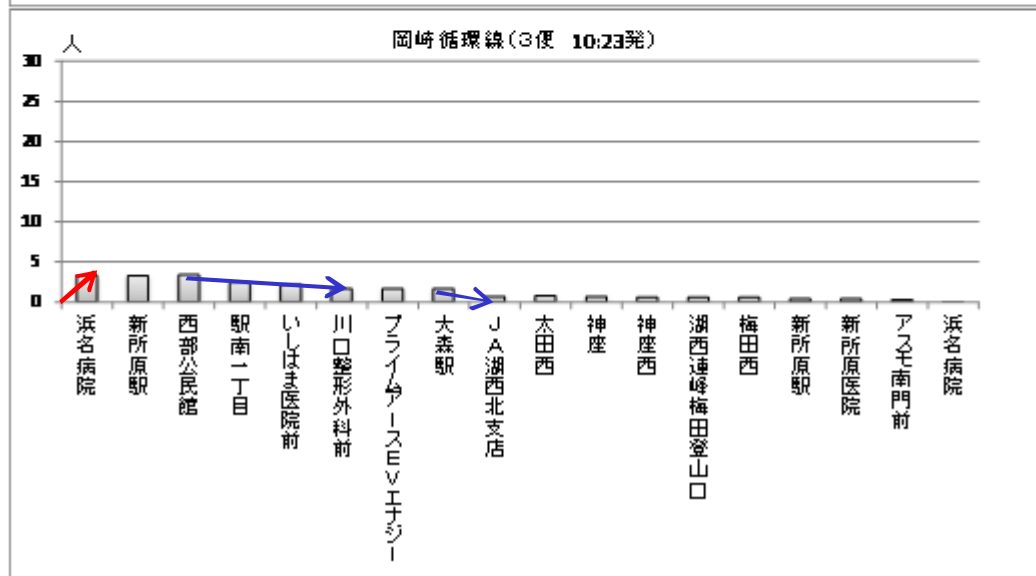
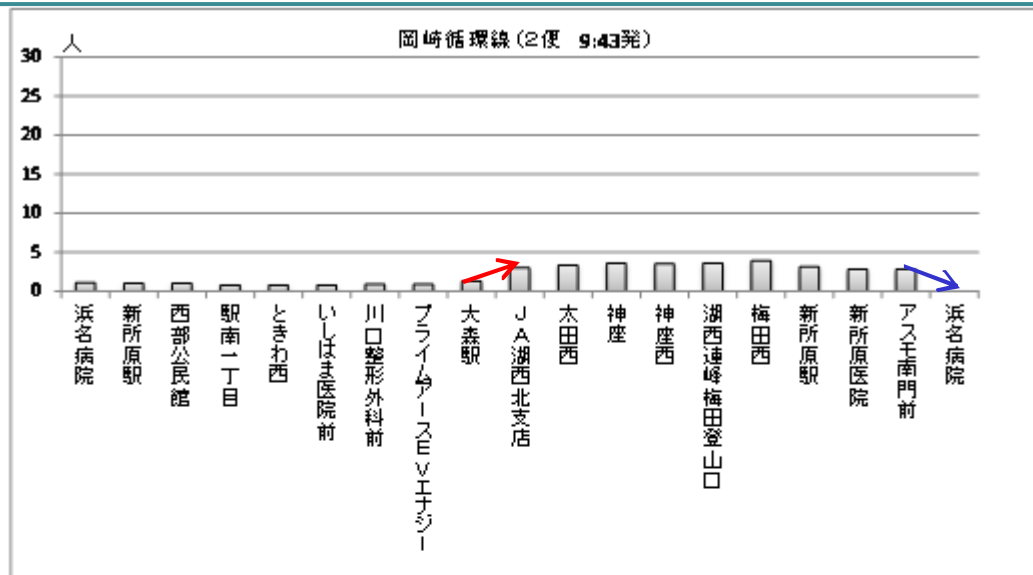
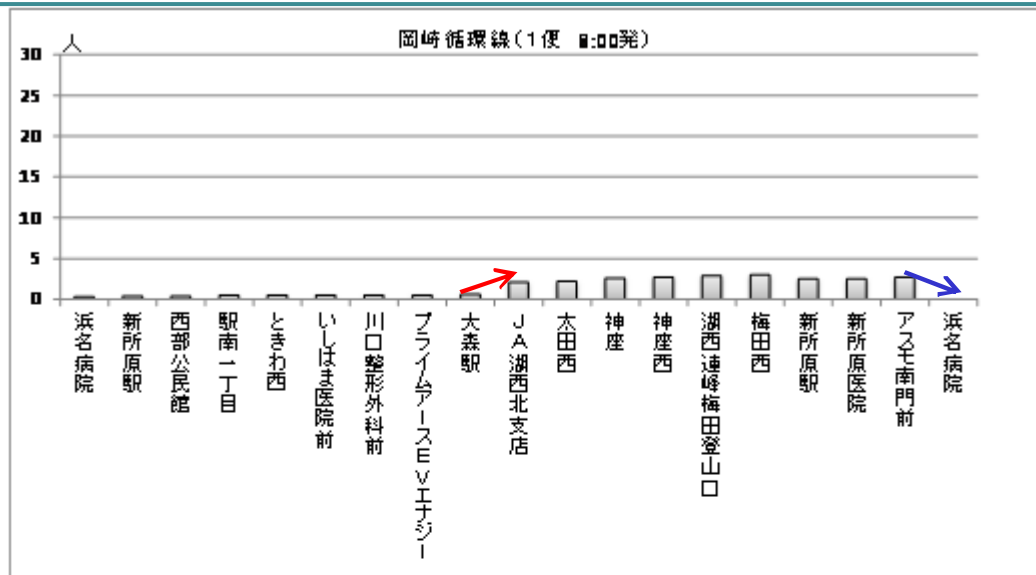


図 乗降状況(各バス停の「乗車」-「降車」の累計値 ≡ 車内の人数)

3. デマンド型交通の可能性検討

(1) コーちゃんバスの需要が少ない地域

① コーちゃんバスの利用状況

○一方、岡崎鷺津線の利用はあることから、公共交通の需要はあると考えられる。

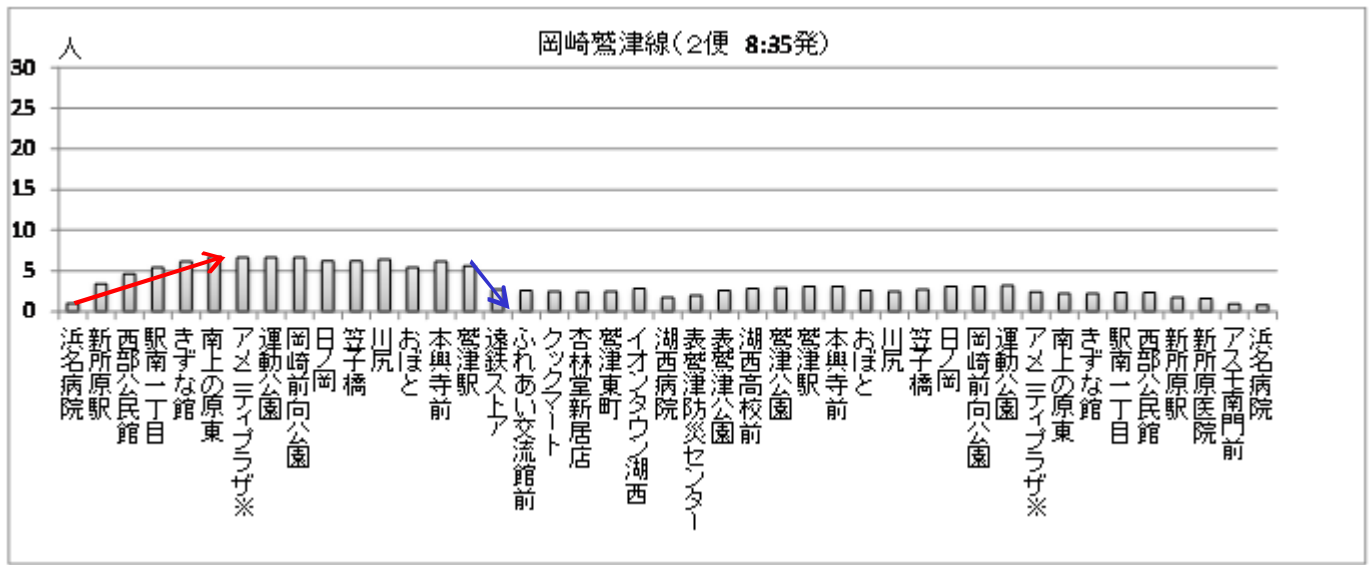
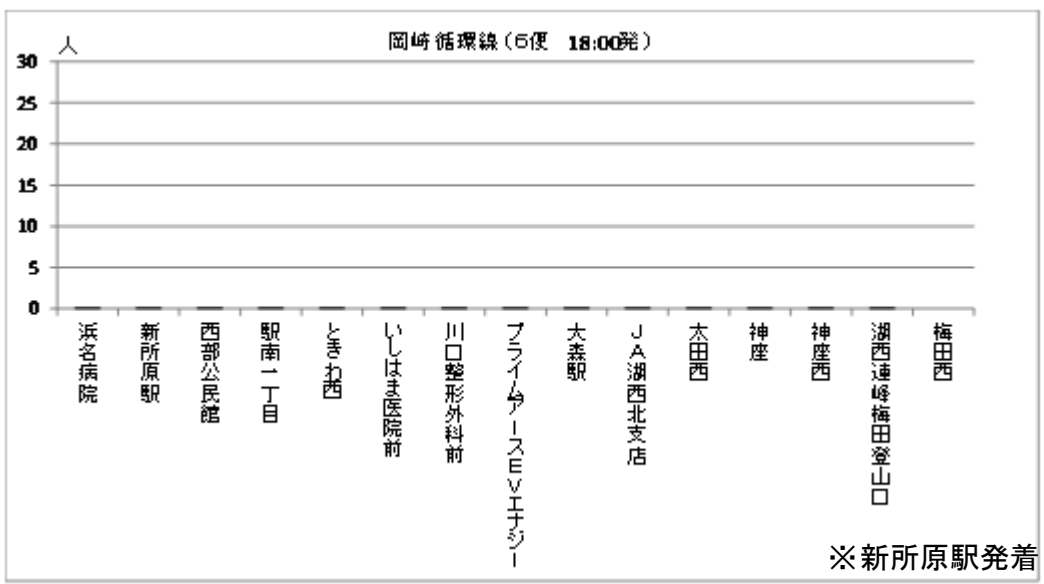
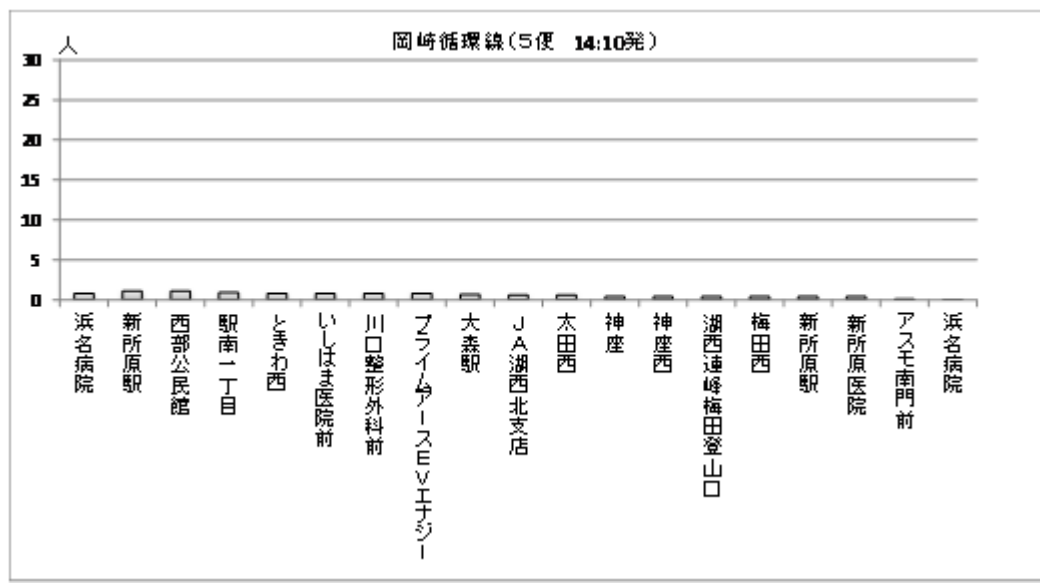


図 乗降状況(各バス停の「乗車」-「降車」の累計値 ≡ 車内的人数)

3. デマンド型交通の可能性検討

(1) コーちゃんバスの需要が少ない地域

② 地区の人口と地形

○岡崎地区は、起伏の少ない地形上で、人口が広く分布している。

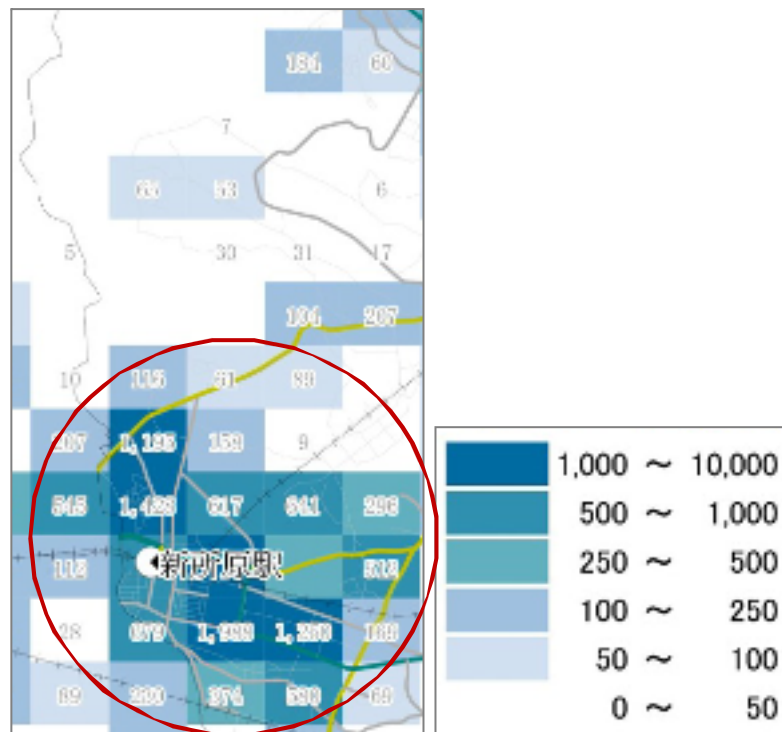


図 人口の分布 (500m×500m)

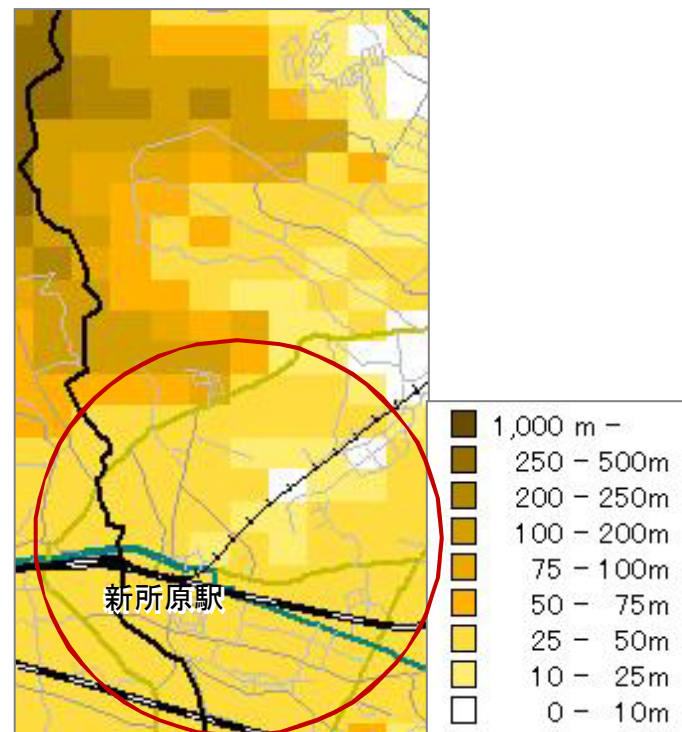


図 標高

3. デマンド型交通の可能性検討

(1) コーちゃんバスの需要が少ない地域

③ デマンド型交通の可能性検討

【現状】

減少傾向にあり、相対的に少ない利用者

利用者の大部分は、他路線からの乗り換え需要

地区は、平坦な地形に人口が広く分布

【課題】

- 岡崎地区内の移動には、路線バスは適していない。
- より自由度の高いデマンド型交通を運行し、地区への適合度合いを検証する必要がある。

【今後の方針】

- 岡崎循環線の運行方法の見直し
- 岡崎地区におけるデマンド型交通の運行

3. デマンド型交通の可能性検討

(2) コーちゃんバスが通っていない地域

① 地区の概況

- 中尾平地域は、現在コーちゃんバスが通っていない。
- このため、地域の小学生の通学に問題がある。
- 一方で、小学生以外の住民は、自家用車を利用しており、コーちゃんバスの要望は小さい。

表 中尾平地域の現状とニーズ(H24)

項目	概況
地区の概況	<ul style="list-style-type: none">○58世帯171人の集落○知波田小学校まで4km弱、知波田駅まで3.5km程度の距離があり、高低差がある。
移動実態の把握調査結果	<ul style="list-style-type: none">○自動車がないと生活ができないため、通学、習い事など子供の外出が常に自動車での送迎を前提としている。○毎日送迎が発生することから、親の負担が大きく、仕事もできないため本来得られるはずの所得が得られていない。○恒例となっても自動車やバイクを利用し続けなければならない、交通安全上問題があるが、現状では、公共交通に転換する見込みは薄い。

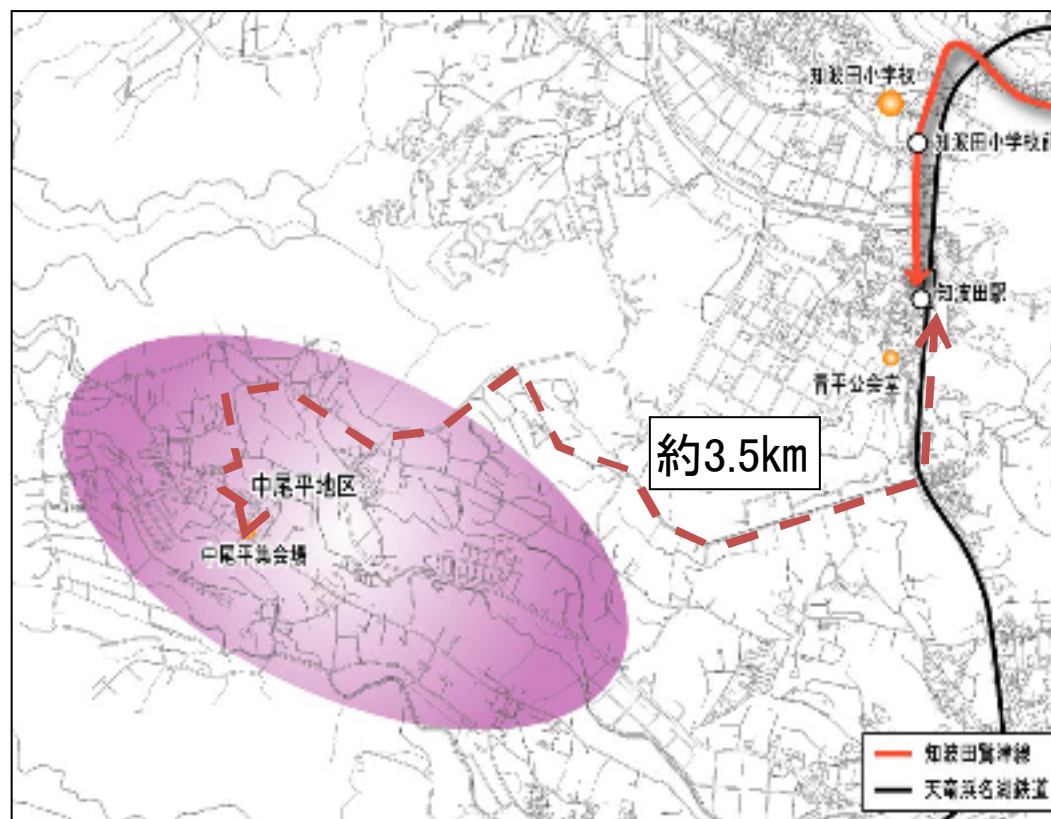


図 中尾平地域の位置

3. デマンド型交通の可能性検討

(2) コーちゃんバスが通っていない地域

② 隣接地域のコーちゃんバス利用状況

- 知波田鷺津線第1便は、横山地区の小学生の知波田小学校への通学に利用。
- 当初想定していた高校生の鷺津駅への通学需要は取り込めなかった。

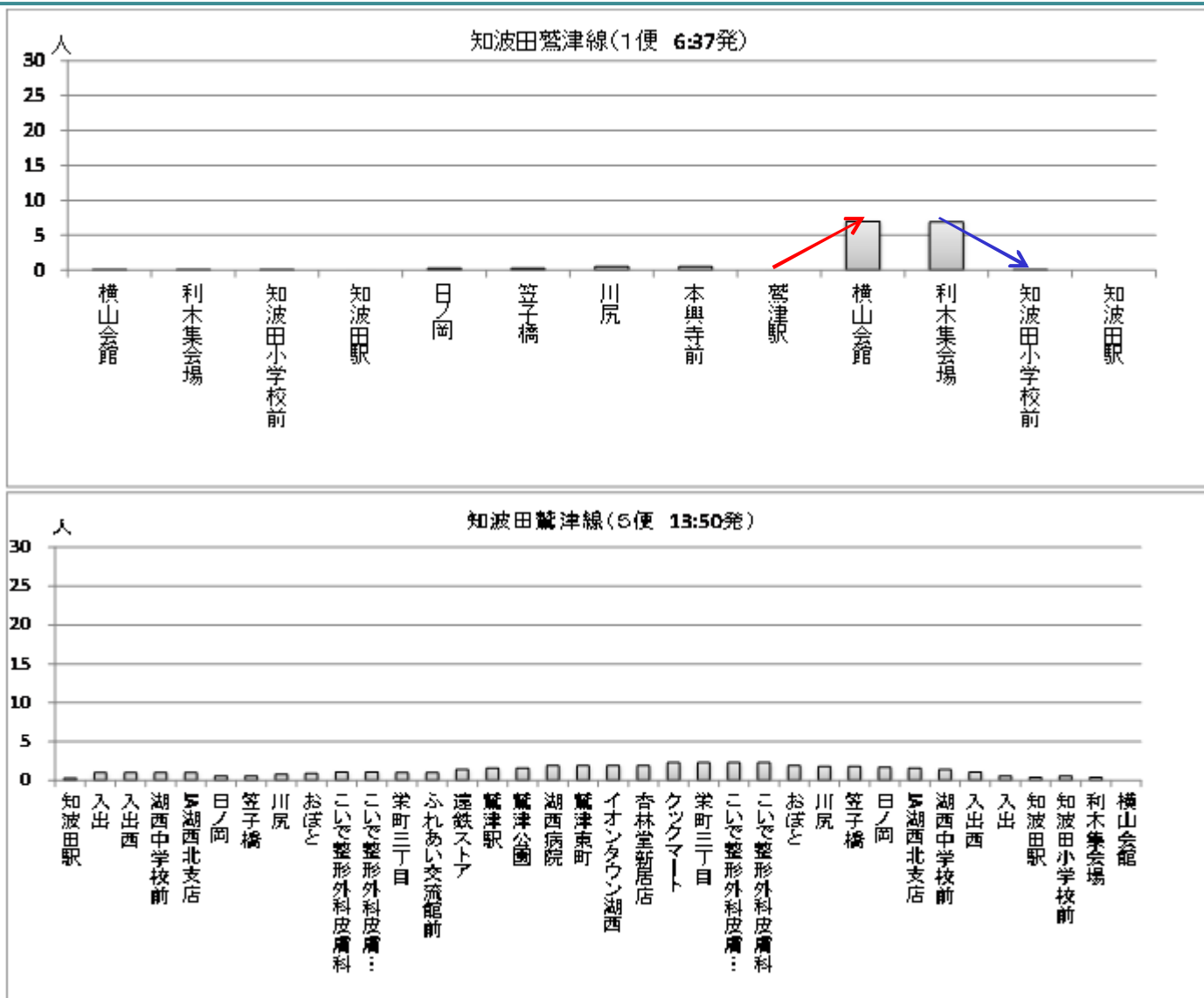


図 乗降状況(各バス停の「乗車」-「降車」の累計値 ÷ 車内的人数)

3. デマンド型交通の可能性検討

(2) コーちゃんバスが通っていない地域

③ デマンド型交通の可能性検討

【現状】

地域の小学生の通学に問題

小学生以外の住民のコーちゃんバスへの要望は小さい。

知波田鷲津線第1便は、知波田小学校の通学需要のみ

【課題】

○地域の小学生への通学支援は必要

(ただし、通学目的であるため、デマンド型交通は馴染まない)

○地域の公共交通のニーズは少ない。

これは、地域公共交通が運行していない中で生活が充足していることが一因と考えられる。

(需要のある時のみ運行するデマンド型交通が適すると考えられる)

【今後の方針】

○知波田鷲津線第1便の中尾平地域乗入れ

(鷲津駅方面へのルートからの振り替え)

○昼間のデマンド型交通導入と、利用促進の展開

3. デマンド型交通の可能性検討

(2) コーちゃんバスが通っていない地域

③ デマンド型交通の可能性検討

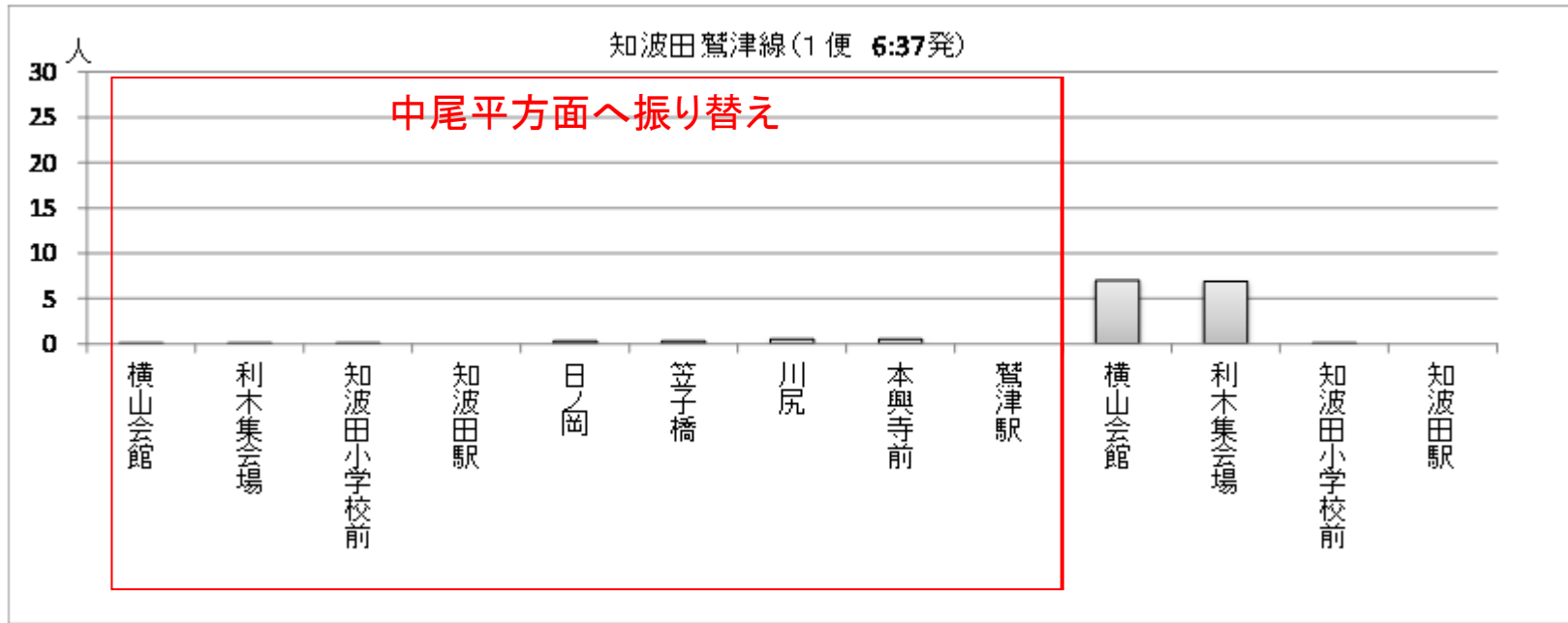


図 乗降状況(各バス停の「乗車」-「降車」の累計値 ≡ 車内の人数) 再掲